



小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 ネバーランド福祉会	代表者	理事長和田泰子	法人・ 事業所 の特徴	法人理念の「自由・創造・愛」をもとに、今年度から、「愛ある生活が送れる」を目標に『パーソン・センタード・ケア』の学習を、法人全体で、実行委員会が主体となり、勧めています。認知症になっても、自分らしく、自分が主役でいられる、そんな日々が送れる、それを支援できることをめざしています。パーソン・センタード・ケアが実践できる職員や事業所づくりに取り組み中です。今後は、利用者様の関係する会議には利用者様に参加して頂く予定です。
事業所名	小規模多機能ホーム ネバーランド	管理者	永濱恵		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	1人(書面報告)	2人(書面報告)	0人	1人(書面報告)	1人(書面報告)	0人	0人	0人	5人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	事業所評価の評価を、スタッフ全員で共有します。課題を具体的に明確にし1年で解決できる策を講じます。	スタッフ全員に、会議で周知しました。	(ご利用者家族様より)事業所評価について、知らない、よく分からない、と答えられる方多い。	事業所評価の進捗についても、ご家族様に報告します。ご要望ご意見など、絶えず聞く体制を継続します。
B. 事業所のしつらえ・環境	玄関などの施錠については、何故実施しているか、利用者の意向について、どう対応していくか、毎月の会議やカンファレンスで話し合っています。	鍵をかけていることは、カンファレンスで都度、スタッフで拘束にあたることを確認しています。身体拘束や人権の尊重の学習を実施しました。	(ご利用者家族様より)コロナ感染症対策が終われば、家族が来られる行事も作って欲しい、との要望があります。	コロナ感染症対策中は、情報を Line 等のツールで発信します。コロナ感染症対策を講じながら、ご家族様にご協力頂けるように、計画を立案していきます。
C. 事業所と地域のかかわり	地域への外出など際の、安全対策マニュアルを作成し、職員に周知し、安全に楽しく出かけられるようにします。	令和2年度はコロナ感染症対策で地域行事への参加はじめ、地域の方との交流も十分に出来ていません。		コロナ禍でも、できうる交流について、検討し実施します。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	運営推進会議などで事例を通し事業所の取り組みについて理解を深めていただくことに努めます。	包括支援センターからの紹介で、相談当日から在宅支援を実施するケース・相談日に訪問及び短期利用受入するケースがありました。	(地域包括支援センターより)広域型サービスで対応できないケースがあれば、すぐに小規模多機能型居宅介護があるから、安心との言葉頂く。	地域に出向いて本人の暮らしを支える、その支援方法や、何故、その支援が必要なのか、本人と話し、職員で共有します。
E. 運営推進会議を活かした取組み	事業所の取り組みとともに、事業所の改善点など、環境についても写真などで説明していきます。	事業所理解の講習会を計画していましたが、コロナ禍の為、実施できず、次年度の課題です。		コロナ禍でも出来る事業所理解の講習会を計画します。

<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>防災手順の学習会を実施します。法人の防災委員会で、地域連携について検討する会議を持ちます。</p>	<p>防災訓練の手順の学習は災害があれば、地域と協力し、高齢者の保護など、積極的な活動を期待されますので、毎年、スタッフの教育と地域の方との協力体制づくりに努めます。</p>	<p>地域の防災訓練に参加や参画することが大切。地域との協力体制、役割分担を明確にする必要性がある。</p>	<p>地域の防災訓練に参加参画します。地域との協力体制、役割分担を明確できるよう法人全体で検討します。</p>
----------------------------	--	---	--	---